

### Ⅲ 高齢者虐待の予防

## 高齢者虐待の予防

高齢者虐待への対応には、高齢者虐待が起らないようにするための「予防」についても取り組む必要がある。

以下に、高齢者虐待発生予防のために必要と考えられる視点をあげておく。

### (1) 住民の「高齢者虐待」に対する認識を高める。

虐待をしている者は、自覚がないまま高齢者を虐待しているということがある。また、高齢者虐待は誰にでも起こりうる問題である。高齢者虐待を理解し身近な問題として認識することが必要であり、そのためには、高齢者の生活や介護、人権擁護、虐待について、住民への意識啓発を行うことが必要である。

その結果、地域の人々に「高齢者虐待を防いでいこう」という意識を持ってもらうことができ、高齢者への声かけや世話をしたり、小さな変化に気づくなど、見守りのネットワークができることにもつながっていく。

### (2) 高齢者虐待に気づくアンテナを高くする。

高齢者虐待に関わる前に、介護相談として相談を受ける場合もありうる。高齢者や介護者が助けを求めた時の対応がうまくできず、問題が解決されないまま状況が悪化することもある。全ての相談で高齢者虐待を疑う必要はないが、相談を受ける中で気になることがあった場合には、丁寧に相談を受け訴えを整理することで、解決すべき真の問題が明らかになり、虐待につながることを防ぐこともできる。支援者がアンテナを高くし、気がついたことを大切にすることが必要である。

### (3) 認知症高齢者への理解を深める。

認知症が高齢者虐待発生の要因になっていることも少なくない。認知症症状が出現すると高齢者本人も介護者も混乱することが多く介護負担が増すことにもなる。また、高齢者が虐待を訴えたとしても誤解ということもありうる。支援者や介護者、また地域住民が認知症やその治療、適切な介護方法等を理解し支援することで、介護負担軽減を図ることができ、ひいては高齢者虐待の発生を防ぐことにもなる。

### (4) 介護者を加害者にしない。

高齢者虐待ケースの中には、熱心に介護している介護者が介護負担の大きさから虐待に及んでしまう場合もある。介護保険制度の中でサービスが普及してきても、様々なことを介護者に頼らざるを得ない現状がある。支援者、また介護者の周囲にいる者もそのような現状を理解し、頑張っている介護者を虐待せざるを得ない状況にさせないよう心がけなければならない。

引用・参考文献 <順不同>

- 多々良紀夫：高齢者虐待－日本の現状と課題－、中央法規出版、2001
- 岡山県保健福祉部長寿社会対策課：岡山県高齢者虐待防止ガイドライン、2005
- 財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会：家庭内における高齢者虐待に関する調査・報告書【概要版】、2004
- 横須賀市健康福祉部：横須賀市高齢者虐待対応マニュアル（第2版）～高齢者虐待かなと思ったら～、2004
- 東京都高齢者虐待を考える会とりまとめ部会：東京都高齢者虐待防止対応マニュアル（仮称）の策定に向けて 議論の中間のまとめ、2005
- 群馬県保健福祉部高齢政策課：処遇困難ケース対応マニュアル～やむを得ない事由による措置を中心として～、2004
- 大阪府健康福祉部高齢介護室：高齢者虐待防止に向けた体制整備のための手引き、2005
- 福井県介護支援専門員連絡協議会：平成16年度 福井県における在宅高齢者の諸問題に関する調査報告書、2005
- 東京都世田谷区：高齢者虐待対応マニュアル、2005
- 埼玉県：高齢者虐待対応の手引き、2005
- 北海道高齢者虐待防止のためのマニュアル等作成委員会：高齢者虐待対応支援マニュアル、2005
- 青森県：関係機関のための高齢者虐待防止・支援マニュアル、2005

— お わ り に —

「マニュアルを作ってください」、「虐待に関わる事例集が欲しい」、「一人で抱えて困っています」、「介護者との関係をどのように持てばよいのか教えてください」、「どこに相談したらいいのかわかりません」・・・これは二年前の高齢者の虐待に関する一次調査で回答に協力していただいたケアマネジャーの生の声です。このハンドブック作成に関わったメンバーを動かしていた原動力は、まさにこの声に応えたいという意欲であったように思います。

毎月1回のペースで委員会を開き議論を重ね、ようやくここにハンドブックの完成を見ることができました。これもご協力をいただいた関係者の方々の熱意のたまものだと深く感謝しております。特に、福井県長寿福祉課の担当者の方にはご多忙の中熱心に支援をしていただきました。ここに厚くお礼申し上げます。

今回のハンドブック作成に関しては、全国の先進的な取り組みを参考にさせていただいております。資料を提供していただいた方々にあらためてここにお礼を申し上げます。

まだまだ未熟なハンドブックではありますが、送付させていただきましたして批評をお願いしたいと思います。また、これを機会に全国的なネットワークの一隅に加えていただければと希望しております。今後ともよろしくお願いいたします。

在宅高齢者の諸問題に関する調査委員会  
副委員長 田辺文夫

高齢者虐待マネジメントハンドブック

平成18年3月

作成 福井県介護支援専門員連絡協議会  
在宅高齢者の諸問題に関する調査委員会

委員長 松山俊也

副委員長 田辺文夫

委員 丹尾由紀子 牧田操子 浅井智恵美

佐島利幸 中橋貴子 白崎恵美子 原田真理子

村松みゆき 和田豊子 大久保健一 加藤初夫

福井県長寿福祉課 戸澤隆雄 谷口雅弘 杉井真由美

福井県二州健康福祉センター 上良まり子

〒910-0859

福井県福井市日之出3-9-8 (加藤産婦人科・内科医院内)

TEL: 0776-22-0660 FAX: 0776-22-0840

ホームページ: <http://www.h2.dion.ne.jp/~fkeamane>

E-mail: fukuiken\_keamane@m6.dion.ne.jp